

4年生36名が、伊勢湾台風学びの授業を受けました。講師は、南区役所地域力推進課の職員です。最初はお互いに緊張していましたが、「伊勢湾台風を知っていますか?」の声に全員が元気に手をあげてくれました。名古屋市では南区が一番被害が大きかったことや、その原因について、明治小学校も浸水したことなどを学びました。先生からは、「今日学んだことをお家で話して、みんなで災害に備えるようにしてください」とのお話がありました。



お手伝い



▲授業の前に、みんなの机に資料を置くお手伝いをしてくれました。資料を重ねてきちんとそろえて置いていたり、机をそろえたりと、自分たちで考えて行動していました。

授業後アンケート



▲授業の最後に今日のアンケートにも、一生懸命に取り組んでくれました。今日学んだことで、お家の人に伝えたいことがたくさんあると言っていました。

浸水標識



▲浸水被害にあった明治小学校には、浸水標識があります。児童があまり通らない東側の場所にありますが、半数以上の児童が標識を知っていました。

児童の声

- ・分かりやすい授業で、知らないことをいっぱい知りました。
- ・避難所を覚えておかないといけないと思いました。家族と一緒に覚える！
- ・知らないことがいっぱいあった。勉強したことを忘れないで、お家でも話したい。

先生の声

- ・今日学んだことを、家庭での防災意識を高めることにつなげていってほしいですね。
- ・子どもたちと一緒に、伊勢湾台風の記念碑を巡って、歴史を調べて明日を考えたい。
- ・内田橋商店街の被害写真が学校にあるので、現在の商店街と比べたり、地形図や標高地図を調べて浸水する理由を考えさせたい(校長先生)